

たきかわCS通信

滝川市教育委員会 教育部 教育総務課 令和2年 10月15日発行 ー 第 18 号 ー



～ 学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制～ 【実践例紹介】

明苑中学校1年生 百島 健教諭 道徳授業

講師 松山市社会福祉協議会 職員

地域福祉活動指導員 森畑 裕子さん

～ わたしたちに 何ができるか ～

視覚障がいの実際とその生活



各学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら教育活動を広げています。今回は、明苑中学校のリモート授業の様子をご紹介します。



森畑 裕子 さん

障がいのある人にとっては、みなさんの声かけやサポートなどの「思いやり」が一番の安心とあわせです。

9月24日（木）、明苑中学校の1年生は、百島健先生の道徳授業で、愛媛県松山市社会福祉協議会職員・地域福祉活動指導員の森畑裕子さんから『視覚障がいの実際とその生活』に関する色々なことを教えていただきました。

授業はインターネット回線を利用しながら、生徒の理解をより深めるため、クラス（5クラス）ごとに松山市と明苑中学校を繋いだリモート授業で進められていきました。



百島先生と森畑さんとのアットホームな受け答えの中、和やかに授業は進んでいきました。この授業を通して、例えば横断歩道を渡る人にも障がいのある方、子ども、お年寄り、渡ることに恐怖心を抱いている方など様々な人がいることを意識しました。そして、「何に困っているか」その中で「私にできること」は何か。黒板に書かれた七文字の短いフレーズですが、生徒たちにとって、授業前と授業後では違って見えたのではないのでしょうか。大変わかりやすく生徒たちの心に響く道徳授業でした。森畑さん本当にありがとうございました。

森畑さんとは、ボランティア活動を通じて知り合いました。道徳教材の中に、目の不自由な人についての教材があったので、実際のリアルな話や正しい知識を知った上で生徒たちに考えてほしいと思いお願いしました。初めてのリモート授業で難しかったこともありましたが、視覚障がいのある方の現状をリアルタイムで生徒たちに伝えることができ、大変有意義な時間になったと思います。



百島 健 先生

森畑さんは、松山市社会福祉協議

会への入社時より、小学校との複合施設「生きがい交流センターしみず」の管理運営業務を担当し、高齢者のサロンやその家族を対象とした講座の企画立案と実施をはじめ、1年生～6年生の総合的な学習の時間等で実施する異世代交流のコーディネートを行っているそうです。



悪七広仁教頭・鎌田俊博校長



明苑中学校



また、ご自身が「網膜色素変性症」という網膜の細胞が少しずつ壊れていく、現代では治療法のない病気を低学年の頃に発症されたそうです。年々症状が進行する中、2017年からは、ご主人の支えのもと盲導犬を迎えて新たな生活をスタートされているそうです。

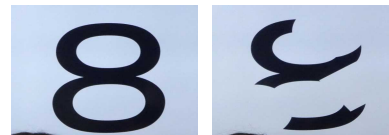


盲導犬すーさん

そこで、森畑さんがどう見えているのかを生徒たちは体感したり、視覚障がい者のためにある物・設備・機能などを教えていただいたり、環境をどう変えたと障がいがなく生活ができるのかを考えたりしながら授業は進んでいきました。

授業の様子と資料

視覚障がい者で全盲にあたる人は全体の20%。あとは弱視80%。見え方に困難を抱えている人が多い。



健康な人の見え方

森畑さんの見え方

片目を手でふさぎ、もう片方の手でつぼをつくり、そこからふさいでない方の目で見ると、視野が狭くなることを体感できる。

視覚障がい
～「見えない」にもいろいろある～

光をまったく感じない人	光を感じられる人
暗い場所が見えにくい人	明るい場所が見えにくい人
見える範囲がせまい人	目を近づければ文字が読める人
文字を大きくすれば見える人	色を感じにくい人



健康な人の視野



森畑さんの視野



松山市のイメージキャラクター「へこまんくん」です。

目をつぶって線を引くのは大変だが、折り目がつくと引きやすい。

視覚障がい者のためにあるもの

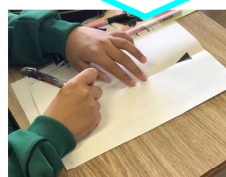
白杖 (はくじょう)	盲導犬	ガイドヘルプ (同行導盲)
財布	サインガイド (お札の見分け印かんを押す場所)	

視覚障がい者のためにある設備

点字ブロック	エスコートゾーン 視覚障害者用横断帯
--------	-----------------------

視覚障がい者のための機能

音声読み上げ・認識サービス	アプリ	お札の区別	地図ガイド
	物の識別(説明)	音声図書	



音声信号、点字ブロック、エスコートゾーン、声かけをしてくださると障がいはなくなりますね。



森畑さんの視野を体感



真剣なまなざし

生徒たちは、森畑さんのお話を熱心に聞いたり、質問に誠意をもって答えたりと真剣に授業を受けていました。

森畑さんは授業の中で、

「周りの方の協力があれば、障がいはなくなるのです。」とはっきりとした口調で話されていたことが、とても印象的でした。



森畑さんと百島先生

この授業を通して、前からわかっていただけですが、障がいのある方が目の前にいたら、協力したり、助けたりすることが大切なんだと改めて再認識しました。

森畑さんに障がいがあることを忘れてしまっただけ、明るく前向きに日々チャレンジしていらっしゃるお姿に大変感動しました。「私にできること」、今もしみじみと考えています。ありがとうございました！

生徒の感想

この授業を通して、「障がいのある人」が「何に困っているのか」そのことに寄り添って支援することで、障がいの有無に関わらず同じように社会で過ごせるようになるということが生徒たちに伝わったのではないのでしょうか。

授業が終わった後、生徒たちだけではなく大人も「私にできること」は何かをしみじみと考えてしまう内容でした。

森畑さん、百島先生、「障がいのある方」に対する考えや、本当の「思いやり」とは何かなど、色々と気付き考える機会になりました。心より感謝申し上げます！



パンフレットに目を通す生徒たち

